**第12課　私のアイデンティティ(2018年3月25日)**

◎ 賛美(一同) : 韓日 208番、韓日502番

◎ 信仰告白(一同) : 使徒信条

◎ 御言葉朗読(一同) : Ⅰ歴代誌4章 9∼10節、◎ 本文朗読

◎ 主の祈り(一同) : 最後に

◎ 今日のマナ　　アイデンティティは私たちが存在する理由を教えてくれます。私たちが明らかなアイデンティティをパターンとして自分の存在理由を正確に知る時、人生のはっきりとした夢と目標が生まれ、その夢と目標を成すために最善を尽くして生きていくことができます。今回はユダ部族の中の一人であったヤベツの人生を通して私たちが持つべきアイデンティティについて知っていきましょう。

**1、尊い存在**

ヤベツは彼の兄弟たちよりも尊ばれる存在でした。なぜなら、彼の母が悲しみの中で彼を生んだからです(Ⅰ歴代誌4：9)。このように、私たち全てはヤベツのような存在です。イエス様が十字架の苦しみを通して私たちを生まれたからです。イエス様は私たちに救いの扉を開けるために天の御座を捨て、人間の体を着てこの地に来られました。そして自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われたのです(ピリピ2：6-8)。

イエス様の尊い犠牲によって私たちはみな、神様の尊い子供になりました。したがって誰でもイエス様の御名を信じて受け入れさえするならば神様の子供になることができます(ヨハネ1:12)。

イエス様がその過酷な苦難を受けられたまた別の理由は私たちが霊肉の健康を受けるようにし、私たちが聖く、祝福された人生を生きるようにされるためです(イザヤ53：5)。したがって、私たちは死ぬまで私たちを愛してくださったイエス様を通して自分を見なくてはいけません。私の価値を評価する基準がこれ以上、自分や世に属した何かになってはいけません。第一コリント6章19節から20節は“あなたがたのからだは、あなたがたのうちに住まれる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたがたは、もはや自分自身のものではないことを、知らないのですか。20あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから自分のからだをもって、神の栄光を現わしなさい。”と言います。

イエス様を信じて神様の子供となった私たちはこれ以上過去に捕らわれ、絶望する必要がありません。私たちの古い人はイエス様と共に十字架で釘打たれて死に、今は私の中でイエス様が住まわれるからです。たとい体に障害があっても、何も持っていなくても、学ぶことができなかったとしても、私たちは神様から愛される尊い存在です。

**2. 祝福を受けた存在**

ヤベツは神様から素晴らしい祝福を受けた存在でした(Ⅰ歴代誌4：10)。神様は選ばれた者に祝福を与えることを願われるお方です。神様が信仰の先祖であるアブラハムを召された時、彼に祝福を約束されました(創世記12：2-3)。また全ての民族がアブラハムを通して祝福を受けるようにする祝福の源とされました。私たちはイエス様を信じる時アブラハムのような祝福を受けました。私たちは祝福を受けた神様の子供であるので、私たちがどこに行こうと、そこに神様の祝福が共にあります。私たちがイエス様を信じるその瞬間私たちは祝福の通路となり世に良い影響力を及ぼすようになります(ガラテヤ3：13-14)。

私たちが受けたアブラハムの祝福と同じ祝福がまさにヤベツの祈りを通して受けた祝福です。神様は私たちに地境を広げてくださる祝福を与えてくださいます。そして私たちの霊的な地境と環境的な祝福の地境も広げてくださいます。すなわち主は私たちに影響力を与え、その影響力を日々大きくしてくださいます。

したがって私たちは世に良い影響力を発揮しなくてはならず、より多くの人々に光を照らさなくてはなりません。世の光として影響力を発揮するということは、良い行いをすること、まさに貧しく病にかかり疎外された隣人に私たちが受けた愛と祝福を分かち合うことです。神様が私たちに祝福を与えてくださるのはこれを通して神様に栄光を帰し苦しんでいる隣人を愛によって仕えなさいという意味です。私たちが受けた愛と祝福を分かつ時、神様が私たちの地境を広げ、より多くの隣人に仕えることができる機会を与えてくださるはずです。

**3. 神様から認められる存在**

神様はヤベツの祈りに答えてくださいました(Ⅰ歴代誌4：10)。神様がヤベツの祈りに答えてくださったのは、彼を認めてくださったということです。箴言15章29節は“主は悪者から遠ざかり、正しい者の祈りを聞かれる。”と言います。このように、私たちは神様の子供として神様から認められる人生を生きて行かなくてはいけません。人から認められることや称賛に縛られたり、自らを高めようとしたりする高慢な姿を捨てなくてはいけません。ただ私たちはいのちの源であられ、人生の主人であられる神様に認められ称賛を受けなくてはなりません。神様に認められる子供は神様の子供らしく生きて行く人です。したがって、私たちは神様の子供らしい姿で生きているのかをいつも振り返らなくてはいけません。神様の子供は誰よりも平和をつくる姿を見せなくてはいけません。神様の子供を通して分裂された心が一つとなり、争いと葛藤のある所に和解と赦しが臨まなくてはなりません。また“平和をつくる者”というアイデンティティを持っていつも肯定的な言葉、励ます言葉、和解と赦しをもたらす言葉を語らなくてはなりません。第二コリント5章18節から19節は“これらのことはすべて、神から出ているのです。神は、キリストによって、私たちをご自分と和解させ、また和解の務めを私たちに与えてくださいました。 19すなわち、神は、キリストにあって、この世をご自分と和解させ、違反行為の責めを人々に負わせないで、和解のことばを私たちにゆだねられたのです。”と言います。

私たちは愛が限りない神様の子供です。また神様と私たちの間を十字架で和解させてくださったキリストの香りであり、手紙です。したがって命を生かす人、関係を回復させる人、夢を与え希望を与える人となって神様から認められる私たちになりましょう。

**◎ マナの要約**

<尊い存在>

1. 私たちはイエス様の犠牲によって神様の尊い子供になりました。

2. イエス様は私たちが聖く祝福の人生を生きるようにするために苦難を受けられました。

3.古い人の姿を捨てて神様の子供として新しい人の姿で生きて行かなくてはいけません。

<祝福を受けた存在>

1. ヤベツは神様が彼の地境を広げられる素晴らしい祝福を受けました。

2. 神様は私たちの霊的地境、環境的な地境を広げてくださいます。

3. 私たちは世の光として世の中で良い影響力を発揮しなくてはいけません。

<神様に認められる存在>

1. 神様がヤベツの祈りに答えられたのは、彼を認めてくださったということです。

2.神様に認められる子供は神様の子供らしく生きて行く人です。

3. 神様の子供は世を平和にする姿を見せなくてはいけません。

**◎ 私の人生のマナ**

<隣の人と挨拶>

1. 私たちは神様の尊い子供です。

2. 神様から受けた祝福を分かち合って生きましょう。

3. 神様に認められる子供になりましょう。

<祈り>

1. 私たちを救うために十字架に架かり死なれたイエス様の愛に感謝の祈りを捧げましょう。

2. 神様から受けた愛と祝福を貧しく疎外された隣人に分かち合う人にならせてくださいと祈りましょう。

3. 平和をつくる者としての使命をしっかり全うできるようにしてくださいと祈りましょう。

<とりなしの祈り>

隣の人と祈りの課題を分かち合い共に祈りましょう。